

## 平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年7月31日

上場会社名 株式会社 インフォメーション・ディベロップメント  
 コード番号 4709 URL http://www.idnet.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 社長室長  
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月12日

上場取引所 JQ

(氏名) 船越 真樹  
 (氏名) 山内 佳代

TEL 03-3264-3571

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	4,237	—	126	—	126	—	52	—
20年3月期第1四半期	4,115	31.8	149	△28.1	143	△30.9	69	△42.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	7.02	7.00
20年3月期第1四半期	9.20	9.16

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
21年3月期第1四半期	8,971	58.3	5,354	58.3	—	—	704.04	—
20年3月期	9,620	55.0	5,418	55.0	—	—	712.14	—

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 5,227百万円 20年3月期 5,288百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	—	0.00	—	19.00	19.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	0.00	—	19.00	19.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	9,020	—	540	—	530	—	280	—	37.71
通期	19,050	5.6	1,270	5.8	1,250	4.9	670	12.6	90.23

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 — 社(社名) ) 除外 — 社(社名) )(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)  
① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
② ①以外の変更 無  
(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

## (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第1四半期 8,026,675株	20年3月期 8,026,675株
② 期末自己株式数	21年3月期第1四半期 600,967株	20年3月期 600,556株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第1四半期 7,425,895株	20年3月期第1四半期 7,476,278株

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、様々な不確定要素が内在しております。実際の業績等は、業況の変化等により、これらの予想数値と異なる場合があります。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間における情報サービス産業におきましては、2009年1月施行を目標とした株券の電子化や、企業の内部統制強化に向けた投資が継続しており、堅調に推移しました。

その一方で、サービスの低価格化や慢性的な人材不足に加え、米国に端を発する金融市場の混乱、原油を含む原材料の高騰、為替変動等の懸念材料などから、お客様のIT投資行動が抑制される要因もあり今後は厳しい状況が予想されます。

このような事業環境のもと、当社グループは引き続き採用活動の強化による優秀な人材確保、技術者育成を最重要課題として取り組むとともに、当社グループの総合力を活かし、既存のお客様を中心にB O O（注）の推進による総合的なサービスの提供、プロジェクト管理の強化、生産性の向上、高品質サービスの維持などに注力いたしました。

この結果、当社グループの当第1四半期連結会計期間における連結売上高は、42億37百万円（前年同期比3.0%増）となりました。これは主として、システム運営管理部門およびデータ入力部門が前年同四半期連結会計期間に比べそれぞれ3.1%、14.8%増加したことによるものです。

一方、収益面におきましては、パートナー（提携関係を結んでいる外注先IT企業）の効率的な活用、品質管理・生産性の強化に取り組んだものの、新入社員の教育費および管理費用が先行していることと、新入社員教育期間中の技術補完の外注費等が増加したことにより、営業利益は1億26百万円（前年同期比15.4%減）、経常利益は1億26百万円（前年同期比11.9%減）、当四半期純利益は52百万円（前年同期比25.3%減）となりました。

なお、当社グループの第1四半期における事業部門別の業績は以下のとおりであります。

①システム運営管理部門

低価格化や受注競争が激化する中で、システム運営管理業務のアウトソーシング化の需要を捉え、既存顧客における個別案件の売上が増加したことにより、売上高は23億19百万円（前年同期比3.1%増）となりました。

②ソフトウェア開発部門

一部子会社において開発案件の受注減があったものの、当社の既存顧客における金融・保険関連の受注が引き続き堅調に伸びたことにより、売上高は14億57百万円（前年同期比1.8%増）となりました。

③データ入力部門

証券業務の個別案件増により、売上高は3億54百万円（前年同期比14.8%増）となりました。

④その他（セキュリティ業務、コンサルティング業務等）

コンサルティング業務およびセキュリティ業務の受注が減ったことにより、売上高は1億6百万円（前年同期比14.4%減）となりました。

（注）B O O（ビジネスオペレーションズアウトソーシング）とは、お客様のコンピュータ部門からの直接的な業務の獲得に止まらず、関連する業務の川上から川下に至る広い範囲のビジネス展開

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①財政状態の変動状況

当第1四半期における財政状態の変動状況は、前連結会計年度末に比べ、総資産では6億49百万円の減少となりました。これは主に、現金及び預金の減少2億59百万円、仕掛品の増加2億11百万円および売上債権の減少5億42百万円などによるものであります。負債の減少5億84百万円は、主に有利子負債の増加1億円、未払法人税等の減少2億77百万円および賞与支給による賞与引当金の減少4億53百万円などによるものであります。なお、純資産は利益剰余金の減少88百万円および有価証券評価差額の増加32百万円などにより64百万円減少し、自己資本比率は58.3%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間における連結ベースの現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前年同四半期連結会計期間末に比べ3億88百万円減少し、当第1四半期連結会計期間末には12億71百万円(前年同期比23.4%減)となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は1億60百万円(前年同期比39.3%増)となりました。

これは主に、賞与引当金を含むその他の流動負債の減少額2億68百万円(前年同期比11.3%減)、たな卸資産の増加2億12百万円(前年同期比74.4%増)、仕入債務の減少81百万円(前年同期比38.8%減)および法人税等の支払額2億86百万円(前年同期比18.9%増)があった一方で税金等調整前四半期純利益1億26百万円(前年同期比9.5%減)および売上債権の減少5億41百万円(前年同期比12.1%増)などにより一部が相殺されております。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は51百万円(前年同四半期連結会計期間は22百万円の獲得)となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出30百万円(前年同期比112.8%増)および無形固定資産の取得による支出21百万円(前年同期比721.0%増)などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は46百万円(前年同四半期連結会計期間は2億57百万円の獲得)となりました。

これは主に、配当金の支払額1億41百万円(前年同期比3.4%増)があった一方で短期借入金の純増加額1億円(前年同期比76.9%減)などにより一部が相殺されております。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

米国の景気後退懸念や、原油高、為替変動などの影響による景気減速感が強まっていることから、今後の経営環境は楽観を許さない状況で推移するものと予想しております。

このような環境のもと、当第1四半期(平成20年4月1日～平成20年6月30日)の業績は、一部子会社において売上が従来予想を下回ったことにより、売上、利益ともに計画を下回って推移いたしました。グループ全体の資源調達、拠点活用など、業務の効率化に持続的に取り組み、期初計画の達成に向け努力してまいります。

なお、現時点では、第2四半期以降、受注、売上とも計画に沿って推移する見込であり、平成20年5月13日に公表いたしました第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 重要な資産の評価基準及び評価方法の変更

たな卸資産(商品)

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。

これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

③ 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

当第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成18年5月17日)を適用しております。

これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係 る要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,291,210	1,550,449
受取手形及び売掛金	2,090,245	2,632,392
仕掛品	444,481	232,958
その他	372,445	433,887
流動資産合計	4,198,382	4,849,688
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,686,795	1,686,795
その他	787,578	797,115
有形固定資産合計	2,474,374	2,483,911
無形固定資産		
のれん	548,273	564,242
ソフトウェア	95,502	95,291
その他	9,282	9,290
無形固定資産合計	653,059	668,825
投資その他の資産	1,645,303	1,617,764
固定資産合計	4,772,736	4,770,502
資産合計	8,971,119	9,620,190
負債の部		
流動負債		
買掛金	351,046	432,870
短期借入金	830,000	730,000
1年内償還予定の社債	119,420	119,420
未払法人税等	9,178	286,832
賞与引当金	189,818	643,271
役員賞与引当金	6,126	26,130
受注損失引当金	5,118	1,136
その他	831,891	668,337
流動負債合計	2,342,599	2,907,998
固定負債		
社債	31,450	31,450
退職給付引当金	796,399	822,871
役員退職慰労引当金	446,577	438,881
固定負債合計	1,274,426	1,293,203
負債合計	3,617,026	4,201,201

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係 る要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	591,541	591,541
資本剰余金	544,934	544,942
利益剰余金	4,509,327	4,598,311
自己株式	△429,375	△429,119
株主資本合計	5,216,427	5,305,676
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	12,090	△20,103
為替換算調整勘定	△550	2,834
評価・換算差額等合計	11,539	△17,268
少数株主持分	126,126	130,582
純資産合計	5,354,093	5,418,989
負債純資産合計	8,971,119	9,620,190

(2) 【四半期連結損益計算書】

(単位：千円)	
当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	
売上高	4,237,713
売上原価	3,521,522
売上総利益	716,190
販売費及び一般管理費	589,532
営業利益	126,657
営業外収益	
受取利息	61
受取配当金	11,291
受取保険金及び配当金	3,973
その他	4,102
営業外収益合計	19,428
営業外費用	
支払利息	2,953
コミットメントライン手数料	16,444
その他	11
営業外費用合計	19,409
経常利益	126,676
特別損失	
固定資産売却損	5
固定資産除却損	58
特別損失合計	63
税金等調整前四半期純利益	126,613
法人税、住民税及び事業税	1,272
法人税等調整額	73,648
法人税等合計	74,921
少数株主利益	419
四半期純利益	52,111

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間

(自 平成20年4月1日

至 平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	126,613
減価償却費	33,952
固定資産除却損	58
固定資産売却損益(△は益)	5
のれん償却額	15,969
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△14,144
受注損失引当金の増減額(△は減少)	3,981
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△26,472
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	7,696
受取利息及び受取配当金	△11,352
支払利息	2,953
為替差損益(△は益)	△768
売上債権の増減額(△は増加)	541,720
たな卸資産の増減額(△は増加)	△212,011
仕入債務の増減額(△は減少)	△81,787
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△7,546
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△268,937
その他	7,293
小計	117,222
利息及び配当金の受取額	11,348
利息の支払額	△2,359
法人税等の支払額	△286,832
営業活動によるキャッシュ・フロー	△160,619
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△30,288
投資有価証券の取得による支出	△150
無形固定資産の取得による支出	△21,192
貸付けによる支出	△500
貸付金の回収による収入	240
その他	806
投資活動によるキャッシュ・フロー	△51,083
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	100,000
自己株式の取得による支出	△303
自己株式の売却による収入	39
配当金の支払額	△141,171
少数株主への配当金の支払額	△4,698
財務活動によるキャッシュ・フロー	△46,133
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,402
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△259,239
現金及び現金同等物の期首残高	1,530,449
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,271,210

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)において、情報サービス事業の売上高及び営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%を超えており、その他の事業には重要性がないため、事業の種類別セグメントの記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)において、本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)において、海外売上高は連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

子会社株式の取得

当社は、平成20年7月31日開催の取締役会において、株式会社シィ・エイ・ティの発行済株式4,815株のうち2,817株(取得価額394百万円、所有割合58.50%)を取得し、子会社化することについて合意書を締結することを決議し、同日付で同合意書を締結いたしました。

当社グループは、対象会社が加わることによりBPO事業周辺の新たなサービスラインナップを強化し、当社グループの強みでもある既存の直接取引顧客、あるいは新規顧客に対し、新たな付加価値サービスを提供し、さらに当社グループの金融機関を中心とする大手顧客におきましては、文書デジタル化の潜在的ニーズは大きく、当社グループの顧客基盤の活用により、対象会社事業のさらなる成長が期待でき、当社グループの企業価値向上に寄与するものと判断いたしました。

①異動する子会社の概要

・商号	株式会社シィ・エイ・ティ
・代表者	代表取締役 大西 由紀
・本店所在地	大阪市淀川区宮原4丁目3番12号
・設立年月日	平成4年3月11日
・主な事業内容	書類電子化、図面電子化、データ入力等のデジタルソリューション事業
・事業年度の末日	4月30日
・資本金の額	90百万円
・売上高	568百万円(平成20年4月期)

②株式の取得先

ベンチャーキャピタル 計8社(1,150株)、株式会社シィ・エイ・ティ取引先 計5社(1,170株)、大西由紀(株式会社シィ・エイ・ティ代表取締役)他個人株主 計5名(497株)、計18名(2,817株)

③株式取得期日

平成20年8月20日(予定)

④取得資金の調達方法

自己資金

「参考」

前第1四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

	前年同四半期 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)
区分	金額(千円)
I 売上高	4,115,225
II 売上原価	3,428,676
売上総利益	686,548
III 販売費及び一般管理費	536,908
営業利益	149,640
IV 営業外収益	15,355
V 営業外費用	21,190
経常利益	143,805
VI 特別損失	3,884
税金等調整前四半期純利益	139,921
法人税、住民税及び事業税	2,934
法人税等調整額	67,142
少数株主利益	△125
四半期純利益	69,718

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
1 税金等調整前四半期純利益	139,921
2 減価償却費	29,567
3 売上債権の増減額	483,435
4 たな卸資産の増減額	△121,575
5 仕入債務の増減額	△133,676
6 その他	△278,068
小計	119,603
7 法人税等の支払額	△241,144
8 その他	6,202
営業活動によるキャッシュ・フロー	△115,338
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
1 有形固定資産の取得による支出	△14,233
2 投資有価証券の取得による支出	△150
3 無形固定資産の取得による支出	△2,581
4 その他	39,893
投資活動によるキャッシュ・フロー	22,928
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
1 短期借入金の純増減額	432,000
2 長期借入金の返済による支出	△33,594
3 配当金の支払額	△136,547
4 その他	△4,113
財務活動によるキャッシュ・フロー	257,744
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△227
V 現金及び現金同等物の増減額	165,107
VI 現金及び現金同等物の期首残高	1,494,385
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	1,659,492

## 平成 21 年 3 月期第 1 四半期 決算概要

## 1. 決算ハイライト

- ◆ 連結売上高は 42.3 億円（前年同期比 3.0%増）、連結経常利益は 1.2 億円（同 11.9%減）で前期比増収減益
- ◆ 個別売上高（前年同期比 7.3%増）と経常利益（同 21.5%増）は前期比増収増益

## 2. 業績と見通し

## [連結]

	平成 19 年 3 月期 第 1 四半期	平成 20 年 3 月期 第 1 四半期	平成 21 年 3 月期 第 1 四半期	前年同期比 増減率	平成 21 年 3 月期 通期見通し	前年同期比 増減率
	百万円	百万円	百万円	%	百万円	%
売上高	3,123	4,115	4,237	3.0	19,050	5.6
営業利益	208	149	126	△15.4	1,270	5.8
経常利益	208	143	126	△11.9	1,250	4.9
四半期(当期)純利益	120	69	52	△25.3	670	12.6
1株当たり 四半期(当期)純利益	15.56 円	9.20 円	7.02 円	△23.7	90.23 円	13.4

## [個別]

	平成 19 年 3 月期 第 1 四半期	平成 20 年 3 月期 第 1 四半期	平成 21 年 3 月期 第 1 四半期	前年同期比 増減率	平成 21 年 3 月期 通期見通し	前年同期比 増減率
	百万円	百万円	百万円	%	百万円	%
売上高	2,851	3,073	3,297	7.3	14,130	4.5
営業利益	212	102	109	6.7	920	4.5
経常利益	218	111	134	21.5	960	4.1
四半期(当期)純利益	129	66	75	14.1	550	4.9
1株当たり 四半期(当期)純利益	16.74 円	8.73 円	10.16 円	16.4	74.07 円	5.6

以上